

| | | | | | |
|--|-----------|--|------|-----|------|
| 平成 25 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス | | | | | |
| 教科目名 | 日本事情 | 担当教員 | 菅原 崇 | | |
| 学年学科 | 4 年 留学生 | 前期 | 必修 | 単位数 | 1 単位 |
| 学習・教育目標 | (C-1) 30% | (A-1) 70% | | | |
| 授業の目標と期待される効果： これまでの日本事情に関する知識を基に、現代日本の社会的現象、諸問題、及び文化についての知識と理解を深める。 | | 成績評価の方法： 定期試験 100 点＋平常試験・課題 200 点 得点率 (%) で成績をつける。 | | | |
| | | 達成度評価の基準： <ul style="list-style-type: none"> ・日本事情に関する用語の理解度を測る試験で 6 割以上できる。 ・日本事情に関する基礎的用語を 6 割以上の的確さで説明できる。 ・現代日本の社会的現象や諸問題の理解度を測る試験で 6 割以上できる。 ・現代日本の主な社会的現象や問題を 6 割以上の的確さで述べることができる。 | | | |
| | | 授業の進め方とアドバイス： 授業では生教材(新聞・雑誌等)が使用されるので、日頃から新聞や雑誌を読むように心がけること。また興味を持った事柄に対して自分なりに調べ、自分なりの意見をまとめて授業に臨むこと。受講者の理解度や興味関心に応じて、進度やテーマを適宜変更する可能性もある。 | | | |
| 教科書および参考書： 生教材を使用するため特定の教科書は使用しない。 | | | | | |
| 授業の概要と予定：前期 | | | | | |
| 第 1 回：ガイダンス | | | | | |
| 第 2 回：「文化」をテーマとして | | | | | |
| 第 3 回：「文化」をテーマとして | | | | | |
| 第 4 回：「風習」をテーマとして | | | | | |
| 第 5 回：「風習」をテーマとして | | | | | |
| 第 6 回：「家庭」をテーマとして | | | | | |
| 第 7 回：「家庭」をテーマとして | | | | | |
| 第 8 回：中間試験 | | | | | |
| 第 9 回：「社会」をテーマとして | | | | | |
| 第 10 回：「社会」をテーマとして | | | | | |
| 第 11 回：「芸術」をテーマとして | | | | | |
| 第 12 回：「芸術」をテーマとして | | | | | |
| 第 13 回：「政治」をテーマとして | | | | | |
| 第 14 回：「政治」をテーマとして | | | | | |
| 第 15 回：「地方」をテーマとして | | | | | |
| 期末試験 | | | | | |
| 第 16 回：フォローアップ (期末試験の解答の解説など) | | | | | |